

【特集】「市長と移住者との座談会」を開催 11月6日（金）18:00～ 会場：カフェ・キッサ

【趣旨】 「市長×移住者が語り合う、みよしde暮らす

三次市に移住された方々と市長が座談会を通して、「なぜ三次で暮らすことになったのか」、それぞれの理由やきっかけとなった出来事など、移住者の目線と生の声を通して、地方への移住・定住、今後の三次のまちづくりのあり方について考える。

座談会を通して出てきた意見やアイデアについて、関連事項を含め、参加者や地域へフィードバックして今後の定住対策に反映されます。（本事業は19自治組織に開催の意向を打診）



カフェ・キッサを会場に「きさIJUネット」会員の方々を含め12名の参加により開催しました。本町から平岡自治連会長、伊達吉吉支所長の出席に加え、オブザーバーとして掛田市議会議員も駆けつけてくださり、和やかな会場の雰囲気の中で充実した座談会になりました。

■座談会では

自己紹介の後、市長が進行役になり「三次市や吉舎町の魅力は何か」、「移住を通して感じていること」などについて意見交換を行いました。地域の方々の温かい受け入れや、豊かな自然環境に魅力を感じたなど、移住を決意した経緯が語られました。

行政施策に関して「豪雨災害による復旧工事を迅速にしてほしい」といった意見や、定住・起業に関わる住宅改修の補助金制度に関する質問もあり、まちづくりに関しても「廃校になった小学校・保育園の活用、古民家を地域の拠点に」などアイデアも出されました。また「少子高齢化・人口減少対策として移住者を増やすことより、先ず地元で生活経験のあるUターン者を増やす取り組みが重要ではないか」という提言に注目が集まりました。

■オール三次で

「農業を一から習うために、地域のひととの関りを大切にしたい」、「実際に住んでみて近隣の人たちのやさしさと仲間はずれにしない地域の良さを感じている」など、それぞれの地域コミュニティの満足度が定住の決め手になった体験談は、吉舎の魅力を表していると感じる一場面でした。

今後「オール三次で、三次暮らしの良さを県内外にアピールしていくことが大切である」との意見に共感の輪が広がるなど市政に移住者の声が反映される良い機会となりました。終わりに、市長から「仕事も子育てもしたい、住んで良かったと思える三次市にする。」との力強い言葉を聞くことができました。

座談会終了後、「きさIJUネット」交流会を開催！

市長との座談会では、昨年度発足した、「きさIJUネット」会員の積極的な質問や意見・提言があり、日頃からの交流や親睦があればこそその成果でもあったように思います。会場のカフェ・キッサ経営者、安田マルシェ主宰者、三次市地域おこし協力隊員とのチームワークも吉舎ならではの良さと感じました。交流会では、吉舎交流拠点施設「よっしゃ吉舎」への期待の高まりと、今後、ネットワークの輪を広げ、それぞれの活動や強みを生かして、連携・協力していくことや、地域活性化策などの情報交換を行いました。

記事レポート 三次市集落支援員(吉舎地区) 徳永春喜

